

204A-5  
1  
長春附近ニ於ケル中國軍脅懲ノ理由

奉天ニ於ケル中日衝突後、九月十八日夜、關東軍司令官 本庄 ハ長春部隊指揮官ニ對シ長春附近ノ中國軍攻撃手ノ準備ヲスベキ命令ヲ發シタ。之ニ依リ長春部隊指揮官ハ爾後ノ命令ヲ俟タズ攻撃手作戦ヲ開始シタ。何が彼等ヲシテ斯カル行動ヲ取ラシメタカラ次ニ説明スル。

當時長春ニ駐屯シテ居タ我ガ兵力ハ舊式ノ山砲ニ門ヲ有スル歩兵大隊ニ一乃至三個大隊（二個三介ノ一大隊？）ヨリ編



成サレテキタガ、一方中國軍ハ野砲三六門  
ヲ有スル歩兵三個聯隊デアッタ。中國軍  
ハ遙カニ我軍ヨリ優勢カデアッタ。

KWAN CHENG TUN デハ中國軍ハ六月戰  
鬪準備トシテ兵營ノ周圍ニ塹壕ヲ掘リ  
其ノ陣地ヲ強化シテ居リ、南山嶺ニ於ケル彼  
等ノ砲兵ハ日本鐵道所方面ヲ狙ヒ以ツテ  
目標演練ヲ常ニ行ツテキタ。本事件  
勃發前、彼等ノ行動ハ非常ニ無禮  
デアッタ。例ヘバ萬寶山事件、我が憲  
兵ニ對スル侮辱及ビ野菜行商人ニ依ル  
「ボイコット」等ガアリ、之等ハ相次イテ



續發シタモノデアリ、又中國軍及ゴ一般人ノ  
反日感情ハ一層激烈デアツタ。

斯ル危険ナル雲圍氣ニ於テ、中日兩  
軍ハ奉天附近ニ於テ九月十八日夜衝突  
シタ、而シテ同ジ軍權ノ下ニアル長春附近  
ノ中國軍ガ彼等ト連繫シテ我々ヲ攻撃す  
スルハ最モアリ得ベキコトデアツタ。斯クテ  
若シ彼等ガ機先ヲ制シタトスレバ、廣大十地  
域ニ分散スル日本人ノ生命及ヒ利益ヲ保護  
スルコトハ日本軍ニトツテハ疑ヒモナク非常ニ困  
難デアツタデアラウ。

之ガ日本軍ガ攻撃ヲセヌハナラナカツタ理由テ  
アル。



長春附近ニ於ケル中國軍脅威ノ理由

Nakayama

奉天ニ於ケル

中日衝突後、奉天ニ於ケル、九月一八日夜、関東軍

指揮官

司令官本庄、長春部隊ニ好シ長春附近ノ中國

軍ニ攻撃ノ準備ヲスルニ命令ヲ發シタ。之ニ應ジ

長春部隊指揮官ハ爾後ノ命令ヲ俟タズ、攻撃ヲ

カ行動ヲ取ラシ

作戦ヲ開始シタ。何が彼等ヲシテ斯ニ過ルヤト

アサキトタカク次ニ説明スル。

當時長春ニ駐屯シテオタ我ガ兵力ハ旧式ノ山砲ニ門

(二個聯隊三ヶノ大隊ニ)

ク有スル歩兵大隊ニ一乃至三個大隊ヨリ編成サレテ

オタガ一方中國軍ハ野砲三六門ヲ有スル歩兵

三個聯隊ヲ有スル。中國軍ハ遙カニ我軍ヨリ

優勢ヲアツタ。 Kwantung 内、中國軍ハ



六月 戦闘準備トシテ兵營ノ周圍ニ塹壕ヲ掘リ、ソノ

陣地ヲ強化シテアリ、南嶺ニ在リシ彼等ノ砲兵ハ

日本鉄道所方面ヲ狙ヒ以テ目標演練ヲ常ニ行

ツテナク、本事件勃発前ノ彼等ノ行動ハ非常

ニ無礼デアリ、~~例~~例ヘハ万宝山事件、我が憲兵

ニ對スル凌辱侮辱及ビ暴行、~~行~~行商人ニ依リ、~~等~~等

等ハ相次イテ續々シタマヘテアリ、又中國軍及ハ一般

人ノ反日感情ハ~~一層~~一層激烈トナリ、

斯ニ危険ナル要ヲ困氣ニ在テ、中日兩軍ハ

奉天附近ニ在テ九月一八日夜衝突シタ、而

シテ同ジ陣地~~軍~~軍權ノ下ニアル長春附近ノ中國

軍が彼等ト連繫シテ~~我々~~我々ヲ攻撃スルハ最モアリ



204A-5  
3

得ルキエトアツタ。斯クテ、若シ彼等が機先ヲ

制シタトスレバ、広大ナ地域ニ分散スル日本人ノ

生命及ビ利益ヲ保護スルニトシ、日本軍ニトシ

テハ疑ヒモテテ非常ニ困難ヲアツタテアラウ。

之カ日本軍カ攻撃ヲセズニナラナカッタ理由ヲ

アツタ。



## 長春附近ニ於ケル中國軍脅威ノ理由

奉天ニ於ケル中日衝突後九月十六日夜間東軍司令官本庄ハ長春部隊指揮官ニ對シ長春附近ノ中支軍攻撃手ノ準備ヲスベキ命令ヲ發シタ。之ニ依リ長春部隊指揮官ハ爾後ノ命令ヲ俟タズ攻撃手作戦ヲ開始シタ。何ガ彼等ヲシテ斯カル行動ヲ取ラシメタカヲ次ニ説明スル。當時長春ニ駐屯シテタタ我ガ兵力ハ旧式ノ山砲二門ヲ有スル歩兵大隊一乃至三個大隊(三個三令ノ一大隊?)ヨリ編成サレテタタガ方中國軍ハ野砲三六門ヲ有スル歩兵三個大隊ヲ有シタ。中支軍ハ遙カニ我軍ヨリ優勢ヲテアタ。又 *Wanhsung* 谷ニテハ中支軍ハ六月戰ヲ準備トシテ兵營ノ周圍ニ塹壕ヲ掘リ、ソノ陣地ヲ強化シテヨリ、南嶺ニ於ケル彼等ノ砲兵ハ日本鐵道町方面ヲ狙ヒ以テ目標演練ヲ席ニ行ツテタタ。本事件勃發前、彼等ノ行動ハ非常ニ無礼デアツタ。例ヘバク宝山事件、我が憲兵ニ對スル侮辱及ビ野禁行商人ニ依ルボイコト等ガアリ此等ハ相次イテ續發シタモノデアリタ。又中支軍及ビ一般ノ友日感情ハ層々激烈デアツタ。

斯ル危険ナル西方面ニ於テ中日兩軍ハ奉天附近ニ於テ九月六日夜衝突シタ而シテ同ノ軍權ノ下ニアル長春附近ノ中支軍ガ彼等ト連絡ホシテ我々ヲ攻撃スルハ最モアリ得ベキ事デアツタ。斯クテ若シ彼等ガ機先ヲ制シタトスレバ大ナ地域ニ分散スル日本人ノ生命及ビ利益ヲ保護スル事ハ日本軍ニトツテハ疑ヒモナク非常ニ困難デアツタデアラフ。之ガ日本軍ガ攻撃ヲセズバナラナク理由デアアル。



長春附近ニ於ケル中國軍備増強ノ理由

奉天ニ於ケル中日衝突後九月十六日夜間東軍司令部官舎在  
 ハ長春附近指揮官ニ於シ長春附近ノ中軍軍攻勢ヲ  
 準備スルベキ命令ヲ奉シタルニ係リ長春附近指揮  
 官ハ爾後ノ命令ヲ俟テ攻勢ヲ作戦ヲ開始シタル所ガ  
 彼等ヲシテ斯カル行動ヲ取ラシメタルカヲ次ニ説明スル  
 當時長春ニ駐屯シテ居タル我ガ兵力ハ旧式ノ山砲三門  
 ヲ有スル歩兵大隊ニ至リ至三箇大隊(三箇連)一大隊ヲ  
 リ編成シテ居タルガ外ニ中國軍ハ野砲三六門ヲ有スル所  
 兵三箇聯隊ニ至リタル。中軍軍ハ邊カニ我軍ヨリ邊境ヲ  
 マルメ *Manchuria* 中軍軍ハ六月戰事準備ト  
 シテ其營ノ周圍ニ塹壕ヲ掘ルノ障地ヲ強化シテ居ル  
 南嶺ニ於ケル彼等ノ砲兵ハ日本鐵道斷方面ヲ狙ヒ  
 以テ目標演練ヲ常ニ行ヒテ居ル。本事件勃發前ノ彼  
 等ノ行動ハ非常ニ無礼ヲアツタル例ハバ方山事件、  
 我が憲兵ニ對スル侮辱及野砲未行商人ニ傷ルル事ト  
 等ガアリ此等ハ相攻メテ續續復シタルモノナリ。又中軍軍及  
 一般ノ友日感情ハ層々激烈テアツタル。  
 斯ル危險ナル雰囲気ニ於テ中日兩軍ハ奉天附近ニ於テ  
 九月六日夜衝突シテ而シテ同ノ軍權ヲ下シタル長春附近  
 中軍軍ノ狙撃ヲ連繫シテ我ガ攻勢スルハ最モ有利  
 得ベキ事ナリ。斯ル事若シ彼等ガ機先ヲ制スルハ  
 大ニ地域ニ分散スル日本兵ノ生命及利益ヲ保護スル事ハ  
 日本軍ニ下ツキハ莫クモ非シ。兩國關係ヲ改善スル  
 之ガ日本軍ガ攻勢ヲヤメバナラザルニ由リヤル。